

4年生の授業風景です。誰かが話すときに、きちんとおへそを向けて聞こうとする子供たちが多くいます。きっと話している人は、「みんながしっかりと聞いてくれる」ことに安心して話ができているはずです。

「聞く」ということは「あなたを大切に思っていますよ」という思いの可視化。まさにこれは人権教育です。

4月は徹底してこの姿勢・雰囲気を確認し、価値づけする時。おへそを向けて聞くという「形式的なこと」が目的ではなく、おへそを向けて聞くことを通して「仲間を大切にするという思いをもつこと」が重要です。同様に本校では「うなずきながら聞く」「反応しながら聞く」「元気に『はいっ!』と返事をする」ということも大切にしています。

